



政 務 活 動 費 出 金 票

No. 2

出 金 日	令和 3年 8月 20日		
項 目	①調査研究費 ④広聴費 ⑦資料作成費	②研修費 ⑤要請・陳情活動費 ⑧資料購入費	③広報費 ⑥会議費 ⑨人件費 ⑩事務所費
摘 用	日中議連		
金 額	3, 000円		
支出内訳	日中議連会費 3, 000円		
領 取 書	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">領 取 書</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">¥ 3, 000 -</p> <p style="text-align: center;">ただし、令和3年度日中友好富山県地方議員連盟会費として</p> <p style="text-align: center;">令和3年8月20日</p> <p style="text-align: center;">魚津市議会議員 寺崎 孝洋 殿</p> <p style="text-align: right;">日中友好富山県地方議員連盟 会長 宮本 光明</p> </div>		

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

承	会派会長印	経理責任者印
認		



氏 名 寺崎 孝洋

政 務 活 動 費 出 金 票

No. 3

出 金 日	令和 3年 9月 30日
項 目	①調査研究費 ②研修費 ③広報費 ④広聴費 ⑤要請・陳情活動費 ⑥会議費 ⑦資料作成費 ⑧資料購入費 ⑨人件費 ⑩事務所費
摘 用	拉致議連会費
金 額	2,000円
支出内訳	北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出する富山県地方議員連盟会費 2,000円
領 収 書	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">領 収 書</p> <p style="text-align: center;">¥2,000-</p> <p style="text-align: center;">ただし、令和3年度北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出する富山県地方議員連盟会費として</p> <p style="text-align: center;">令和3年9月30日</p> <p style="text-align: center;">寺崎 孝洋 殿</p> <p style="text-align: center;">北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出する富山県地方議員連盟会長</p> </div>

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

承	会派会長印	経理責任者印
認		



氏 名 寺崎 孝洋

政 務 活 動 費 出 金 票

No. 5

出 金 日	令和 3年 10月 20日~ 21日		
項 目	①調査研究費 ④広聴費 ⑦資料作成費	②研修費 ⑤要請・陳情活動費 ⑧資料購入費	③広報費 ⑥会議費 ⑨人件費 ⑩事務所費
摘 用	危機管理産業展 2021		
金 額	23,977円		
支 出 内 訳	交通費 (黒部宇奈月温泉駅⇄都内) 18,330円 宿泊費 5,647円 合計 23,977円 報告書・領収書は別紙		
領 収 書			

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

承	会派会長印	経理責任者印
認		

氏 名 寺崎 孝洋

政務活動費出金票

No. 5

領収書

危機管理産業展 2021 (宿泊費)

領収書 (RECEIPT)

2021/10/11
ID00091
QJCLVO

氏名 寺崎 孝洋

金額 (Amount) ¥5,647



お支払内容 (Details) : 10月20日分 宿泊代金として

お支払方法 (Payment Method) : Credit Card

American Express International, Inc.
Amex Travel Services
〒105-6920 東京都港区虎ノ門 4-1-1

この書簡は、正式な領収書としてご利用いただけます

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

承	会派会長印	経理責任者印
認		

氏名 寺崎 孝洋

政務活動費出金票

No. 5

領収書

危機管理産業展 2021 (交通費)

e5489領収書

KRS0373D2110161622311

表小日: 2021年10月16日

宛名 民進
古崎 様

利用金額計 ¥18,330-(税込)

お支払方法 クレジットカード払い(カード番号: 4桁: 1002)

但し JR乗車券類

予約番号 42055

購入日 2021年10月16日



きっぷの明細

ご利用開始日	ご利用人数	ご利用区間
2021年10月20日	おとな1人	区間: 嵐部(奈良温泉) - 東京首都圏フリー (行先) (乗車券あり) 乗車日: 2021年10月20日 列車: 新幹線はくたか553号 区間: 嵐部(奈良温泉) - 東京

JR西日本旅客鉄道株式会社

本件は電子的に保持しているデータを画面表示したものです。

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

承	会派会長印	経理責任者印
認		

氏名 寺崎 孝洋

2020年10月21日

危機管理産業展 2021 視察について

魚津市議会 会派 民進
寺崎 孝洋

日時：2021年10月20日(水)～21日(木)
場所：東京ビッグサイト 青海展示棟

講演日時：10/20(水) 15:00～16:30
講演内容：安全対策セミナー「危機管理マニュアル
基本編」

講師：CRISIS MANAGEMENT(株)
防災担当 小平 隆弘氏



講演日時：10/21(木)
11:00～12:30

講演内容：公共空間
のセキュリティ

司会：(株)プロスコップ セキュリティ産業新聞編集長

パネリスト：総合警備保障 野口 勇人氏
帝国繊維 干場 久仁雄氏
K.J.フェロー 岩城 征昭氏
戸田 敬樹氏

内容及び所感

【展示物について】

昨今の災害（ゲリラ豪雨、地震、津波、ウイルス）などを想定した防災器財や情報収集器財、また救助・復興機材が多く紹介されていた。

避難所関係では、ウイルス対策の避難所として、現状より小さい収納、設置時間短縮、高断熱性が図られたエアータント、耐水段ボールに保管し水害時にも機能を確保出来る簡易トイレなどの展示があった。

災害復興・救助という点では、危険場所の作業向けに、ブルドーザーやショベルカーにロボット（人間の形をしておらず、既存機械の操作レバーを動かす装置）を載せ遠隔作業をさせる装置や、ドローンの展示も多くあった。

これらは、現状自治体や自衛隊が保有している災害備品等を高機能化したものだが、新しい視点として情報収集機器、アプリの展示も多く展示されていた。

これらは、河川の水位・氾濫情報や土砂崩れ状況、大雪などでの交通渋滞、低地道路の冠水状況などを把握し災害対策や、住民への情報発信に使用し被害を最小限に止めるためのものである。中でも興味深かったのは、災害情報収集方法についてである。今までと同様に、危険個所にカメラを設置し平時から情報収集する方法もあったが、ツイッターやインスタグラムなどのSNSを用い特定（行政職員など）又は不特定多数の人からのアップ情報をAI（人工知能）で選別し、確かな危険場をのみを選別し、状況把握をするアプリも紹介されていた。

これらなどは今後、即時性や真偽性の精度も上がり、固定的なカメラの設置・メンテ費用が発生しないというメリットがあり、現在テレビ局などが使用しているという。

費用はわからないが今後注目する情報収集ツールだと思われる。

【講演について】

20日に行われた「危機管理マニュアル 基本編」は社員を海外派遣する企業向けの話（テロ対策）が多く、直接自治体を例にした話はなかったが、その話の中では危機管理能力強化が必要である、とよく述べられた。それは、複合災害対策（コロナ下での風水害・地震災害）を考える必要があるという事、また当たり前ではあるが「知識だけではダメで実践・事象に対応する能力を付ける事（演習を繰り返す事）が危機管理能力強化である」ということ。この事は全ての危機管理にも通じるところであり、マニュアル（書類）を作って終わりとなりがちなの行政の注意する点だと感じさせられた。

21日の講演「公共空間のセキュリティ」では、

- 避難先を拡大させるために、商業施設の駐車場を避難場として確保する。
- 住民への普及啓発に SNS などで在宅避難、垂直避難、避難場での感染拡大防止を知らせる。
- 物資対策として、各業界・各団体などと物資調達の協定を結ぶ。
(災害時にコンビニ物資を地域に供給するなど)
- 災害対策として事前対策・事後対策を分けて考える必要がある。

などとパネラーがそれぞれ述べられた。

これらを聞いていて、災害時は公助という行政が中心となって活動しなければならないが、個人や業界・団体が協力（自助・共助）の方法を予め決めておくことでより公助はより有効に機能すると思った。